



おおい町・福井県との「水素サプライチェーン構築に向けた連携協定締結式」 - 10月25日

NEWS LETTER Vol.42の「理事会の開催」にお知らせしましたように、ふくい水素エネルギー協議会は福井県から「おおい町での小型水素ステーション導入にかかる事業可能性調査業務」を受託しました。この事業実施に向けて、10月25日、おおい町役場 正庁ホールにて「水素サプライチェーン構築に向けた連携協定」を締結しました。ふくい水素エネルギー協議会 中山浩行代表理事（図1）、おおい町 反田志郎副町長、福井県エネルギー環境部 獅子原朋広部長からそれぞれ挨拶があった後、福井県エネルギー課 三寺庄司課長から協定の概要が次のように説明されました。



図1 中山代表理事の挨拶



図2 連携協定書への署名

協定の締結日：令和5年10月25日（水）

協定締結の目的：福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議（資源エネルギー庁が運営）で示された「ゼロカーボンを牽引する地域」の実現、更には2050年カーボンニュートラルの達成に向けて、嶺南地域での水素サプライチェーンの構築を目指す。

期間：令和5年10月25日～令和6年3月31日（1年ごとに更新）

主な連携内容：（1）水素製造・供給実証施設の整備に関すること
（2）水素製造・供給実証施設の運用に関すること
（3）水素エネルギーの需要創出と利活用に関すること
（4）水素エネルギーを利活用した地域振興に関すること



図3 署名後の記念撮影

主な役割：

ふくい水素エネルギー協議会——水素ステーションの整備と運用

おおい町——水素ステーションの設置場所の検討と水素需要の創出

福井県——水素ステーションの設置場所の検討と水素需要の創出

また、今年度は、水素ステーションの設置場所・仕様・費用などを検討しますが、令和6年度には、水素ステーションを設置し、水素製造量の確認などを行い、令和7年度には、嶺南地域での水素の利活用を推進するとともに、大阪・関西万博への水素の供給を目指します。

協定内容の説明があった後、3者が書面に署名（図2）し、記念撮影が行われました（図3、4）。その後、事務局担当者が記者による囲み取材を受けました（図5）。これらの内容は、当日夕方のテレビのニュースや、10月26日の新聞記事になりましたので、おおい町で水素利活用事業が行われることや、ふくい水素エネルギー協議会が福井県・おおい町と協定を締結したことが多くの県民に知らされました。

この事業の一環として、ふくい水素エネルギー協議会は、11月3日（金）～5日（日）、おおい町総合市民センターで開催された“おおい町民文化祭”への来場者を対象とした「おおい町での水素ステーションの設置」に関するアンケートと、おおい町商工会の協力を得て、会員企業約300社を対象とした「おおい町での水素ステーション設置に関する調査」アンケートを実施し、地域の住民・企業の「水素エネルギーに対する関心度」などを調査しています。

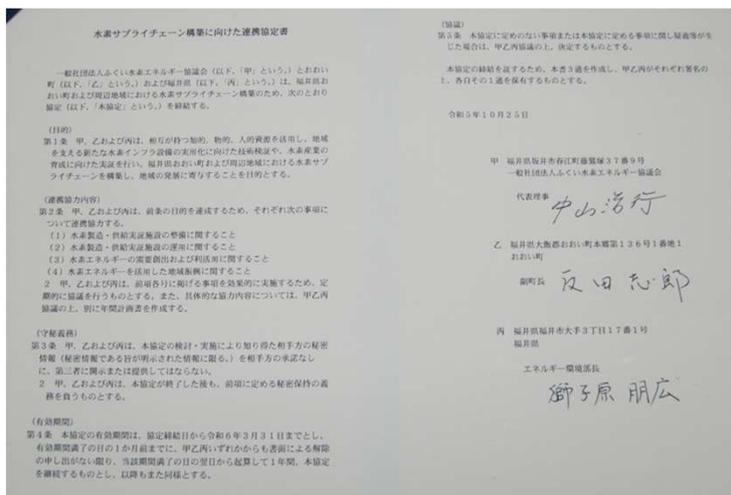


図4 連携協定書



図5 メディアによる取材

おい町民文化祭における町内での水素ステーションの設置に関するアンケート調査

11月3～5日、おい町役場に隣接したおい町総合町民センター（図6）で開催された令和5年度おい町民文化祭にて、3日と5日、「水素ステーションの設置に関するアンケート」調査を行いました。

センター正面入口から入ってすぐのホール内に「アンケート配布・回収場所」を設置して頂きました。3日は来場者受付横（図7、8）で、受付終了した来場者にアンケート用紙を挟んだクリップボードを渡して回答して頂きました。5日は少し奥に入った場所（図8）で、前を通る人が少ない状態でしたので、来場者を見つけて、クリップボードを渡して回答をお願いしました（図9）。2日間で284名から回答を得ました。回答者には粗品（ホッカイロ）（図10）を差し上げました。設問は次の通りです。

■ご回答者

- ・性別 男性 女性
- ・年齢 10代 20代 30代
 40代 50代 60歳以上
- ・家族の人数 ご自分を含めて、
 1人 2人 3人 4人 5人
 6人以上
- ・お住まい
 おおい町 小浜市 高浜町
 若狭町 敦賀市 その他の県内
 県外
- ・勤務先
 おおい町 小浜市 高浜町
 若狭町 敦賀市 その他の県内
 県外 勤務していない
- ・日常的な主な移動手段
 自家用車 JR バス タクシー 自転車・徒歩
 バイク その他（ ）

■本日「おい町総合町民センター」にお越しになった目的と交通手段

- ・お越しになった目的
 イベントに出演 イベントの見学 買い物
 仕事 休憩 その他
- ・交通手段
 自家用車（自分で運転） 自家用車に同乗
 営業用貨物車・トラック バスなどの公共交通機関
 徒歩・自転車・バイク その他

■「水素ステーション」に関するご意見など

- ・水素エネルギーへの関心度
 強い それなり 普通 あまり無い まったく無い
- ・水素利活用機器 —— 水素を燃料とした乗用車（FCV）、バス、フォークリフトが市販・利用されていることを、 知っている 知らない
- ・水素ステーションの設置 —— 水素を燃料とした自動車の利便性向上のための“おい町”での水素ステーション設置に、
 賛成 反対 意見は無い 分からない
- ・水素ステーションの設置場所 —— “おい町”に水素ステーションを設置するとしたら、適地と思われる場所は、
 うみんぴあ JR若狭本郷駅・役場近く 関西電力大飯発電所近く
 町内であればどこでも良い 分からない
- ・水素ステーションの利用 —— “おい町”に水素ステーションが設置されたならば、
 すぐに利用したい FCVを所有すれば利用したい
 利用する予定はない 分からない
- ・FCVの利用 —— “おい町”に水素ステーションが設置されたならば、FCVを 利用したい 利用する予定はない
 分からない



図6 おおい町民文化祭が開催された総合町民センター正面入口



来場者受付

アンケート配布・回収場所

図7 総合町民センターのロビー（3日）



図8 アンケート配布・回収場所（左:3日、右:5日）



図9 アンケート調査の様子（5日）



図10 アンケート用紙と粗品

一般社団法人 ふくい水素エネルギー協議会
〒919-0411 福井県坂井市春江町藤鷲塚37-9
株式会社 ナカテック内 事務局 羽木
TEL : 0776-58-3930 FAX : 0776-51-5144